

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-058483

(43)Date of publication of application : 28.02.2003

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
G06F 15/00
H04L 12/58
H04M 11/00

(21)Application number : 2001-247792

(71)Applicant : YAFOO JAPAN CORP

(22)Date of filing : 17.08.2001

(72)Inventor : MORI HIROTAKA

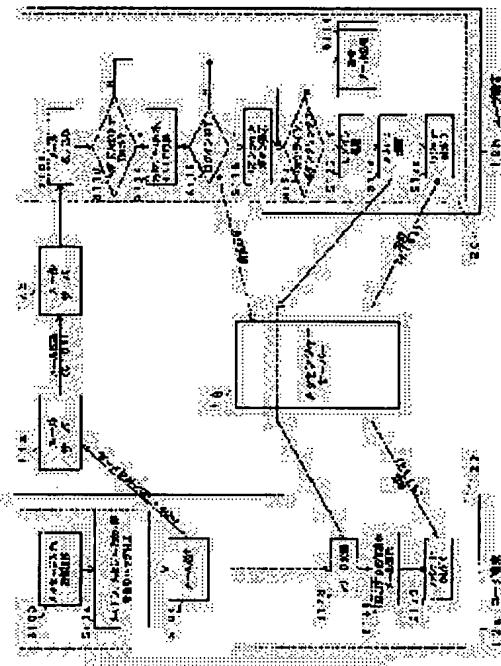
(54) METHOD FOR PERFORMING COMMUNICATION BETWEEN USER TERMINALS BY USING E-MAIL SERVICE AND MESSENGER SERVICE, PROGRAM ALLOWING COMPUTER TO EXECUTE THE METHOD, RECORDING MEDIUM RECORDED WITH THE PROGRAM, SYSTEM FOR PERFORMING COMMUNICATION BETWEEN USER TERMINALS BY USING E-MAIL SERVICE AND MESSENGER SERVICE, AND SERVER SYSTEM USED IN THE SYSTEM AS MESSENGER SERVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attain communication having higher convenience by integrating e-mail service and messenger service.

SOLUTION: When a user A executes mail transmitting operation to a user B by using a user terminal 12a, mail ID, the messenger account of the user A, etc., are included in a header and transmitted (S100 to S104). When a user terminal 12b of the user B receives the mail, the mail ID and the messenger account of the user A are acquired from the header, and if the user A of the messenger account is logging in a messenger server 16, the user terminal 12a is informed of the mail ID through the server 16 (S108 to S124).

Then interaction through the server 16 is attained between the user terminals 12a, 12b (S134).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.03.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3675744

[Date of registration] 13.05.2005

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(51) Int. C1.	識別記号	F I	テーマコード	(参考)
G06F 13/00	650	G06F 13/00	650	B 5B085
15/00	310	15/00	310	A 5K030
H04L 12/58	100	H04L 12/58	100	Z 5K101
H04M 11/00	302	H04M 11/00	302	

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全10頁)

(21) 出願番号 特願2001-247792 (P 2001-247792)

(22) 出願日 平成13年8月17日 (2001. 8. 17)

(71) 出願人 500257300
 ヤフー株式会社
 東京都港区北青山3-6-7

(72) 発明者 森 浩貴
 東京都港区北青山3-6-7 ヤフー株式会社内

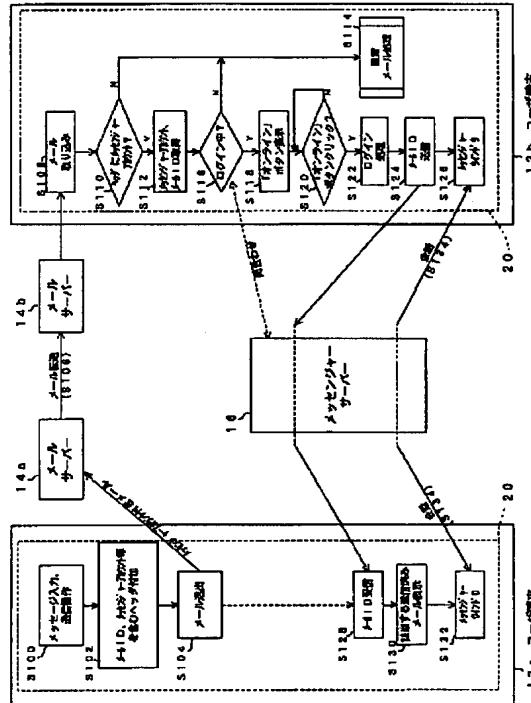
(74) 代理人 100071283
 弁理士 一色 健輔 (外3名)
 F ターム (参考) 5B085 BA06 BC01 CA06
 5K030 HA06 JT02 KA02
 5K101 KK02 KK05 KK20 LL00 NN03
 NN07 NN15 NN21 NN23 PP03

(54) 【発明の名称】電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを利用してユーザ端末間で通信を行う方法、この方法をコンピュータに実行させるためのプログラム、このプログラムを記録した記録媒体、電子メ

(57) 【要約】

【課題】電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを統合したより利便性の高い通信を可能とする。

【解決手段】ユーザAのユーザ端末12aにてユーザB宛てのメール送信操作が行われると、ヘッダーにメールIDやユーザAのメッセージジャーアカウント等が含まれて送信される(S100~S104)。ユーザBのユーザ端末12bでメールを受信すると、ヘッダーからメールIDおよびユーザAのメッセージジャーアカウントが取得し、そのメッセージジャーアカウントのユーザAがメッセージジャーサーバー16にログイン中であれば、メールIDがメッセージジャーサーバー16を経てユーザ端末12aへ通知される(S108~S124)。以後、ユーザ端末12a、12b間でメッセージジャーサーバー16を介した会話が可能となる(S134)。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であつて、所定のメールアドレス宛に送信された電子メールを受信するメール受信手順と、該受信した電子メールに、メール送信者が前記メッセンジャーサービスを利用するためのメッセンジャーアカウントが付加されていればそのメッセンジャーアカウントを取得するメッセンジャーアカウント取得手順と、前記メッセンジャーサービスを提供するメッセンジャーサーバーに対して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザが当該メッセンジャーサーバーへログイン中であるか否かを問い合わせる問い合わせ手順と、前記問い合わせにより、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザがログイン中であると判別されれば、前記メッセンジャーサーバーへログインし、前記メッセンジャーサーバーを介して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とするメッセンジャー利用手順と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載の方法において、前記受信した電子メールに付加されたメール ID を取得する手順を更に含み、前記メッセンジャー利用手順は、前記取得したメール ID を、前記メッセンジャーサーバーを介して前記取得したメッセンジャーアカウント宛に送信する手順を含むことを特徴とする。

【請求項 3】 電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であつて、メール送信者が前記メッセンジャーサービスを利用するためのメッセンジャーアカウントをメールに付加するアカウント付加手順と、該メッセンジャーアカウントが付加されたメールを、指定されたメールアドレス宛に送信する送信手順とを含むことを特徴とする方法。

【請求項 4】 請求項 3 記載の方法において、前記送信手順で送信したメールを受信した他のユーザ端末から前記メッセンジャーサーバーを介して送信されてきた当該メールに固有のメール ID を受信する手順と、該受信したメール ID で特定される送信済みメールのメール本文を表示すると共に、前記他のユーザ端末との間で前記メッセンジャーサーバーを介したメッセージ交換を可能とする手順と、をさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 6】 請求項 5 記載のプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 7】 電子メールサービスとメッセンジャーサ

ービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であつて、

送信側端末において、

メール送信者が前記メッセンジャーサービスを利用するためのメッセンジャーアカウントをメールに付加する手順と、

該メッセンジャーアカウントが付加されたメールを指定されたメールアドレス宛に送信する手順とを実行し、受信側端末において、

10 受信した電子メールに送信者のメッセンジャーアカウントが付加されればそのメッセンジャーアカウントを取得する手順と、

前記メッセンジャーサービスを提供するメッセンジャーサーバーに対して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザが当該メッセンジャーサーバーへログイン中であるか否かを問い合わせる手順と、

前記問い合わせにより、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザが前記メッセンジャーサーバーへログイン中であると判別されれば、前記メッセンジャーサーバーへのログイン処理を行い、前記メッセンジャーサーバーを介して前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とする手順とを実行することを特徴とする方法。

【請求項 8】 電子メールサービスと、メッセンジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行うシステムであつて、

前記メッセンジャーサービスを提供するメッセンジャーサーバーと、メール送信者が前記メッセンジャーサービスを利用するためのメッセンジャーアカウントを付加したメールを、指定されたメールアドレス宛に送信する手段を備える第 1 のユーザ端末と、

30 受信した電子メールに送信者のメッセンジャーアカウントが付加されればそのメッセンジャーアカウントを取得する手段と、前記メッセンジャーサーバーに対して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザが前記メッセンジャーサーバーにログイン中であるか否かを問い合わせる手段と、前記問い合わせにより、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザがログイン中であると判別されれば、前記メッセンジャーサーバーへのログ

40 イン処理を行い、前記メッセンジャーサーバーを介して前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とする手段とを含む第 2 のユーザ端末とを備えることを特徴とするシステム。

【請求項 9】 請求項 8 記載のシステムにおける前記メッセンジャーサーバーとして用いられるサーバーシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電子メールサービ

スとメッセンジャーサービスとを利用してユーザ端末間で通信を行う方法、この方法をコンピュータに実行させるためのプログラム、このプログラムを記録した記録媒体、電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを利用してユーザ端末間で通信を行うシステム、およびこのシステムでメッセンジャーサーバーとして用いられるサーバーシステムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】近年、インターネットの急速な普及に伴って、オフィスの各個人や各家庭が所有するパソコン等の端末の大半がインターネット接続機能を有するようになっている。そして、インターネット接続機能を有する端末では電子メールの利用が可能である。

【 0 0 0 3 】電子メールを送る場合、送信者はメールソフトを起動して、メッセージ本文を入力し、相手先のメールアドレスを指定したうえで送信操作を行う。すると、メールソフトはメッセージに所定のメールヘッダーを附加して、相手先メールアドレスを管轄するメールサーバーへ向けて送信する。相手先アドレスの端末では、同様にメールソフトを起動し、このメールソフトがメールサーバーへアクセスすることにより、当該アドレス宛に届いたメッセージを端末へ取り込んで表示させる。これにより、送信先のユーザは自分宛に届いたメールを閲覧することができる。

【 0 0 0 4 】このように、電子メールでは、相手の端末へ直接メッセージを送ることができ、また、送信したメールはメールサーバーへ保存されるので、相手が不在のときにもメールを送ってもそのメールが消失することではなく、確実に相手にメールを届けることができる。これらの点で、電子メールは従来からの通信手段である電話やFAXに比べて格段に便利であり、こうした理由から、通信手段として電子メールが一般的に用いられるようになっている。

【 0 0 0 5 】しかし、上記のように、電子メールは、先ず、送信元端末から送信先のメールサーバーへ送られて保存され、送信先端末のメールソフトがメールサーバーへアクセスして保存されたメールを取り込むという仕組みであるため、メールの送信操作が行われてから、送信先の端末へメールが届くまでの間に一定の時間遅れが生ずる。すなわち、電子メールでは、リアルタイムのコミュニケーションを図るうえでは必ずしも好適ではない。

【 0 0 0 6 】一方、最近では、メッセンジャーサービスと呼ばれるサービスが普及しつつある。このメッセンジャーサービスは、所定のメッセンジャーサーバーへログインした複数のユーザ間でリアルタイムでのメッセージ交換（会話）が行えるというものである。すなわち、あるユーザのコンピュータ端末でメッセージを入力すると、そのメッセージが即時にログイン中の相手先ユーザのコンピュータ端末に表示されるのである。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】このように、メッセンジャーサービスは電子メールの弱点であったリアルタイム性を補うものであり、両者を融合して利用できれば、より有効なコミュニケーションの手段が実現できると期待される。しかし、従来は、電子メールサービスとメッセンジャーサービスとは別個独立に提供されており、両者を融合したサービスを行うことは考えられていなかった。

【 0 0 0 8 】本発明は上記の点に鑑みてなされたもので
10 あり、電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを統合したより便利な通信を可能とする目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】上記の目的は、請求項1に記載する如く、電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であって、所定のメールアドレス宛に送信された電子メールを受信するメール受信手順と、該受信した電子メールに、メール送信者が前記メッセンジャーサービスを利用するためのメッセンジャーアカウントが付加されていればそのメッセンジャーアカウントを取得するメッセンジャーアカウント取得手順と、前記メッセンジャーサービスを提供するメッセンジャーサーバーに対して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザが当該メッセンジャーサーバーへログイン中であるか否かを問い合わせる問い合わせ手順と、前記問い合わせにより、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザがログイン中であると判別されれば、前記メッセンジャーサーバーへのログイン処理を行い、前記メッセンジャーサーバーを介して、前記取得したメッセンジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とするメッセンジャー利用手順と、を含むことを特徴とする。

【 0 0 1 0 】請求項1記載の発明によれば、電子メールの受信側のユーザ端末において、当該電子メールに附加された送信者のメッセンジャーアカウントが取得され、このメッセンジャーアカウントに基づいて送信者がメッセンジャーサーバーへログイン中であるか否かが判別される。そして、ログイン中であれば、メール送信者のユーザ端末との間でメッセンジャーサーバーを介したメッセージ交換が可能となる。したがって、本発明によれば、電子メールの受信後、自動的にメール送信者との間でメッセンジャーサービスを利用したメッセージ交換を行えることとなり、電子メールサービスとメッセンジャーサービスとを統合した利便性の高い通信を実現できる。

【 0 0 1 1 】また、請求項2に記載された発明は、請求項1記載の方法において、前記受信した電子メールに附加されたメールIDを取得する手順を更に含み、前記メッセンジャー利用手順は、前記取得したメールIDを、
50 前記メッセンジャーサーバーを介して前記取得したメッ

センジャー アカウント宛に送信する手順を含むことを特徴とする。

【0012】請求項2記載の発明によれば、電子メール送信者のメッセージジャーアカウント宛に、メッセージジャーサーバーを介して、受信者側からメールIDが通知されるので、送信者はどの送信済みメールに対して受信者から応答があったのかを特定することができる。

【0013】また、請求項3に記載された発明は、電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であって、メール送信者が前記メッセージジャーサービスを利用するためのメッセージジャーアカウントをメールに付加するアカウント付加手順と、該メッセージジャーアカウントが付加されたメールを、指定されたメールアドレス宛に送信する送信手順とを含むことを特徴とする。

【0014】また、請求項4に記載された発明は、請求項3記載の方法において、前記送信手順で送信したメールを受信した他のユーザ端末から前記メッセージジャーサーバーを介して送信してきた当該メールに固有のメールIDを受信する手順と、該受信したメールIDで特定される送信済みメールのメール本文を表示すると共に、前記他のユーザ端末との間で前記メッセージジャーサーバーを介したメッセージ交換を可能とする手順と、をさらに含むことを特徴とする。

【0015】また、請求項5に記載された発明は、請求項1乃至4のうち何れか1項記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラムに係るものであり、請求項6に記載された発明は、このプログラムを記録した記録媒体に係るものである。

【0016】また、請求項7に記載された発明は、電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行う方法であって、送信側端末において、メール送信者が前記メッセージジャーサービスを利用するためのメッセージジャーアカウントをメールに付加する手順と、該メッセージジャーアカウントが付加されたメールを指定されたメールアドレス宛に送信する手順とを実行し、受信側端末において、受信した電子メールに送信者のメッセージジャーアカウントが付加されていればそのメッセージジャーアカウントを取得する手順と、前記メッセージジャーサービスを提供するメッセージジャーサーバーに対して、前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザが当該メッセージジャーサーバーへログイン中であるか否かを問合わせる手順と、前記問合せにより、前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザが前記メッセージジャーサーバーへログイン中であると判別されれば、前記メッセージジャーサーバーへのログイン処理を行い、前記メッセージジャーサーバーを介して前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とする手順とを実行することを特徴とする。

【0017】また、請求項8に記載された発明は、電子

メールサービスと、メッセージジャーサービスとを用いてユーザ端末間で通信を行うシステムであって、前記メッセージジャーサービスを提供するメッセージジャーサーバーと、メール送信者が前記メッセージジャーサービスを利用するためのメッセージジャーアカウントを付加したメールを、指定されたメールアドレス宛に送信する手段を備える第1のユーザ端末と、受信した電子メールに送信者のメッセージジャーアカウントが付加されればそのメッセージジャーアカウントを取得する手段と、前記メッセージジャーサーバーに対して、前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザが前記メッセージジャーサーバーにログイン中であるか否かを問合わせる手段と、前記問合せにより、前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザがログイン中であると判別されれば、前記メッセージジャーサーバーへのログイン処理を行い、前記メッセージジャーサーバーを介して前記取得したメッセージジャーアカウントのユーザとのメッセージ交換を可能とする手段とを含む第2のユーザ端末とを備えることを特徴とする。

【0018】また請求項9に記載された発明は、請求項8記載のシステムにおける前記メッセージジャーサーバーとして用いられるサーバーシステムに係るものである。

【0019】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施形態であるシステムの全体構成図である。図1に示す如く、本実施形態において、インターネット10には多数のユーザ端末12が接続されている。また、インターネット10には、各ドメインを管轄するメールサーバー14や、メッセージジャーサービスを提供するメッセージジャーサーバー16等が接続されている。なお、ユーザ端末12は、

30 パーソナルコンピュータ等のコンピュータ端末であってもよく、あるいは、インターネット接続機能を有する携帯電話機やPDA等の携帯端末であってもよい。また、ユーザ端末12は企業等の組織内のLANを介してインターネット10に接続されていてもよく、その場合は、メールサーバー14が当該LAN上に設けられていてよい。

【0020】先ず、メッセージジャーサービスの概要について説明する。メッセージジャーサービスを利用しようとするユーザは、予めメッセージジャーサーバー16にアクセスすること等によりユーザ登録を行い、メッセージジャーアカウントおよびパスワードを取得すると共に、メッセージジャーサービス専用のソフト(以下、メッセージジャーア用ソフトという)をダウンロードすること等により入手してインストールしておく。そして、ユーザ端末12においてこのメッセージジャーア用ソフトを起動すると、メッセージジャーサーバー16へアクセスが行われ、ユーザがメッセージジャーアカウントおよびパスワードを入力すると、メッセージジャーサーバー16はユーザ認証を行つたうえで、このユーザのログインを許可する。

【0021】メッセージジャーア用ソフトは、メッセージジャ

一サーバー16へのログインが許可されると、所定のプロトコルによりユーザ端末12とメッセージジャーサーバー16との接続を確立し、以後、ログアウトが行われるまでこの接続を維持する。また、メッセージジャーサーバー16は、各ログインユーザに固有のバッファメモリ領域を割り当てる。

【0022】メッセージジャーソフトの表示画面では、他のユーザ宛のメッセージ送信操作を行うことができる。すなわち、送信先ユーザのメッセージジャーアカウントを指定しメッセージを入力したうえで送信操作を行うと、このメッセージは即座にメッセージジャーサーバー16へ送信され、送信元ユーザのバッファメモリ領域に書き込まれると共に、送信先ユーザがログイン中であれば、そのバッファメモリ領域にも同じメッセージが書き込まれる。各ユーザのバッファメモリ領域に書き込まれたメッセージは即座に当該ユーザのユーザ端末14へ送信されて表示される。したがって、送信先ユーザがログイン中であれば、あるユーザから送信されたメッセージは即座に送信先ユーザのユーザ端末12に表示されることとなり、ログイン中のユーザ間でリアルタイムのメッセージ交換すなわち会話をを行うことができる。

【0023】本実施形態のシステムは、電子メールサービスと上記のメッセージジャーサービスとを統合し、電子メールの送受信から、メッセージジャーサービスによるメール送受信者間での会話へ移行することを可能とするものである。すなわち、本実施形態のシステムにおいては、あるユーザAが他のユーザBへ電子メールを送信した場合、この電子メールを受信したユーザBのユーザ端末12に対してユーザAがメッセージジャーサーバー16へログイン中であるか否かが通知される。そして、ユーザAがログイン中であれば、ユーザBも自動的にメッセージジャーサーバー16へログインすることで、メール送信者であるユーザAとの間でメッセージジャーサービスを利用した会話を可能とするのである。

【0024】以下、本実施形態における処理の内容を、ユーザAとユーザBとが通信を行う場合を例にして図2を参照して具体的に説明する。なお、図2において、ユーザAおよびユーザBのユーザ端末を夫々符号12aおよび12bで表し、また、ユーザAおよびユーザBの夫々のメールアドレスを管轄するメールサーバーを符号14aおよび14bで表している。

【0025】図2に示す如く、ユーザAのユーザ端末12aおよびユーザBのユーザ端末12bには、夫々、通信用プログラム20がインストールされている。通信用プログラム20は例えばCD-ROM、DVD-ROM、フロッピー(登録商標)ディスク等の可搬型記録媒体で提供されてユーザ端末12a、12bにインストールされてもよいし、あるいは、インターネット12経由でユーザ端末12a、12bにダウンロードされてインストールされることとしてもよい。

【0026】通信用プログラム20は、電子メールサービスを利用するためのメールソフトとしてのメール機能と、上記したメッセージジャーソフトとしてのメッセージジャーソフトとを有している。通信用プログラム20が起動されると、そのメール機能により、通常のメールソフトと同様に、送受信メールの一覧や選択された受信メールの本文等を表示する表示欄や、メール作成メニュー等を含む電子メールウインドウが表示される。また、メッセージジャーソフトにより、ユーザによるログイン操作に応じて、予め設定されたメッセージジャーアカウントおよびパスワードを用いてメッセージジャーサーバー16へのログイン処理が行われ、メッセージ表示欄等を含むメッセージジャーウインドウが表示される。

【0027】ユーザAはユーザ端末12aにおいて通信用プログラム20を起動し、予め、メッセージジャーサーバー16へログインしておくものとする。そして、電子メールウインドウにおいてメール作成メニューを選択し、宛先メールアドレスを指定してメール本文のメッセージを入力したうえで送信操作を行う(S100)。これに応じて、通信用プログラム20は、入力されたメール本文にメールヘッダーを付加する(S102)。このメールヘッダーには、通常の電子メールに含まれる送信元メールアドレス、宛先メールアドレス、メールに固有のメールID等のほか、ユーザAのメッセージジャーアカウントが含まれる。そして、メールヘッダーを付加したメールをメールサーバー14a宛に送出する(S104)。メールサーバー14aは、送られてきたメールのヘッダーに含まれる宛先メールアドレスに従い、このメールをユーザBのメールサーバー14b宛に転送する(S106)。

【0028】一方、ユーザB側では、ユーザ端末12bにて通信用プログラム20が起動されると、メール機能により、メールサーバー14bへアクセスして、ユーザBのメールアドレス宛のメールをユーザ端末12bへ取り込み、そのメール本文を表示させる(S108)。そして、取り込んだメールのヘッダーに送信者のメッセージジャーアカウントが含まれているか否かを判別し(S110)、含まれていれば、メールヘッダーからメッセージジャーアカウントおよびメールIDを取得する(S112)。一方、メッセージジャーアカウントが含まれてなければ、以後、通常のメールソフトとしての処理を行う(S114)。本例の場合、送信元であるユーザ端末12aにおいてメールヘッダーにユーザAのメッセージジャーアカウントが含まれているから、S110では肯定判別されることになる。

【0029】次に、メッセージジャーサーバー16に対して、上記取得したメッセージジャーアカウントのユーザ(すなわち電子メール送信者)がログイン中であるか否かを問い合わせる(S116)。問合せの結果、送信者がログイン中であれば、例えば画面に「オンライン」ボ

タンを表示させることなどにより、その旨をユーザBへ知らせる(S118)。一方、メール送信者がログイン中でなければ、以後、通常のメールソフトの動作を行う(S114)。

【0030】図3は、この時点でのユーザ端末12bに表示される画面の例を示す。本例の場合は、メール送信者であるユーザAはログイン中であるから、電子メールウインドウにおける受信メール本文の表示と共に、「オンライン」ボタンが表示されている。この画面において「オンライン」ボタンがクリックされると(S120)、メッセージサーバー16へのログイン処理が行われる(S122)。そして、ログイン後、メール送信者のメッセージサーバーアカウント宛に、受信したメールのメールIDを含むメールID通知メッセージが送信される(S124)と共に、メール送信者であるユーザAとメッセージサービスによる会話をを行うためのメッセージウインドウが表示される(S126)。

【0031】図4は、メッセージウインドウが表示された表示画面の一例を示す。同図に示すように、受信した電子メールの内容と、送信元ユーザであるユーザAとの会話をを行うメッセージウインドウとが並んで表示される。

【0032】送信者であるユーザAのユーザ端末12aでは、上記のメールID通知メッセージを受信すると(S128)、そのメールIDに該当する送信済みメールを読み出して表示させ(S130)、さらに、ユーザBとメッセージサービスによる会話をを行うためのメッセージウインドウを同じ画面上に表示させる(S132)。図5は、この表示画面の一例を示す。上記図4に示すユーザ端末12b側の画面と同様に、送信した電子メールの内容と、送信先ユーザであるユーザBとの会話をを行うためのメッセージウインドウとが並んで表示される。

【0033】以後、ユーザAおよびユーザBは夫々のユーザ端末12a、12bにおいて、表示されたメールの内容を参照しながら、メッセージウインドウにて互いに会話をを行うことができる(S134)。なお、図4および図5に示されるメッセージウインドウでは、下欄に相手方に対する発言を記入し、上欄には自分および相手方の発言が順次表示されるようになっている。

【0034】以上説明したように、本実施形態のシステムによれば、電子メール送信時に、メールヘッダーに送信者のメッセージサーバーアカウントを含めることで、受信側において、受信メールのメールヘッダーから送信者のメッセージサーバーアカウントを取得して、メッセージサービスを利用して送信者にリアルタイムでメッセージを送ることができる。すなわち、電子メールが受信された後、通信用プログラム20の機能により自動的にメッセージサーバー16にログインして、電子メール送

受信者間でメッセージサービスによる会話をを行うことが可能となる。このように、本実施形態によれば、電子メールサービスとメッセージサービスとを融合した利便性の高いユーザ端末間の通信を実現することができる。

【0035】また、ユーザ端末12bで受信したメールのメールヘッダーに含まれるメールIDを、メッセージサーバー16を介して送信側のユーザ端末12aに通知し、ユーザ端末12aにてそのメールIDに該当する送信済みメールの内容を表示させることで、送信側のユーザは、受信者から応答のあった電子メールの内容を確認しながら、メッセージサーバー16を経由したメッセージ交換を行うことができる。

【0036】なお、上記実施形態では、ユーザAが单一のユーザBへ電子メールを送信し、ユーザBがメール受信後、2人のユーザA、B間でメッセージサービスによる会話を行えるものとした。しかしながら、メッセージサーバー16として、3名以上のユーザ間での会話を可能とするサーバーを用いることにより、例えば、ユーザAがメール送信先として複数のユーザB、C、Dを指定して電子メールを送信した場合にも、上記実施形態と同様にして、各メール受信者B、C、Dが送信者Aへメッセージサーバー16を介してメールID通知メッセージを送ることにより、以後、ユーザA、B、C、D間での会話をを行うことができる。3名以上の多人数間でのメッセージ交換を電子メールで行うことには、煩雑であって時間もかかるが、メッセージサービスを利用すれば、このような多人数間の会話も非常に円滑に行うことができる。したがって、あるユーザAから送信された複数名宛ての電子メールをきっかけにして、メッセージサービスを利用した多人数間での会話を行えることは、極めて有用である。

【0037】

【発明の効果】本発明によれば、受信者側の端末で電子メールが受信された後、自動的にメール送受信者のユーザ端末間でメッセージサービスを利用した会話を行えるようになり、電子メールサービスとメッセージサービスとを統合した利便性の高い通信を実現できる。

【図面の簡単な説明】

40 【図1】本発明の一実施形態であるシステムの全体構成図である。

【図2】本実施形態における処理の内容をユーザAとユーザBとが通信を行う場合を例にして示す図である。

【図3】メール受信者であるユーザBのユーザ端末において送信者がメッセージサーバーへログイン中であると判別された際の表示画面の一例を示す図である。

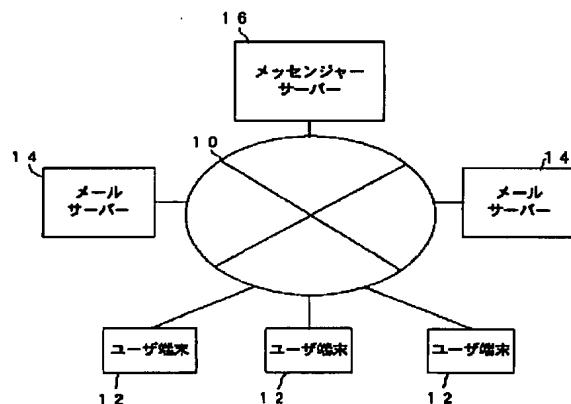
【図4】メール受信者であるユーザBのユーザ端末においてメール送信者であるユーザAとの会話をを行うためのメッセージウインドウが表示された表示画面の一例を示す図である。

【図5】メール送信者であるユーザAのユーザ端末においてメール受信者であるユーザBのユーザ端末からメールIDが通知された際の表示画面の一例を示す図である。

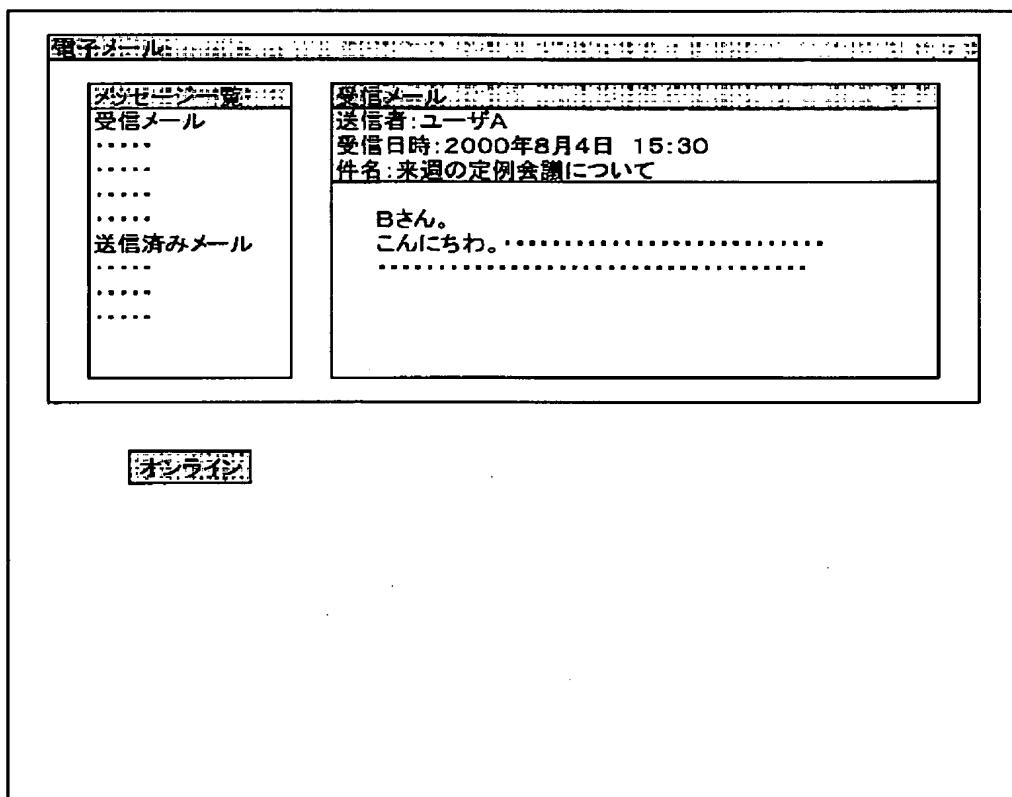
【符号の説明】

- 10 インターネット
- 12, 12a, 12b ユーザ端末
- 14, 14a, 14b メールサーバー
- 16 メッセンジャーサーバー
- 20 通信用プログラム

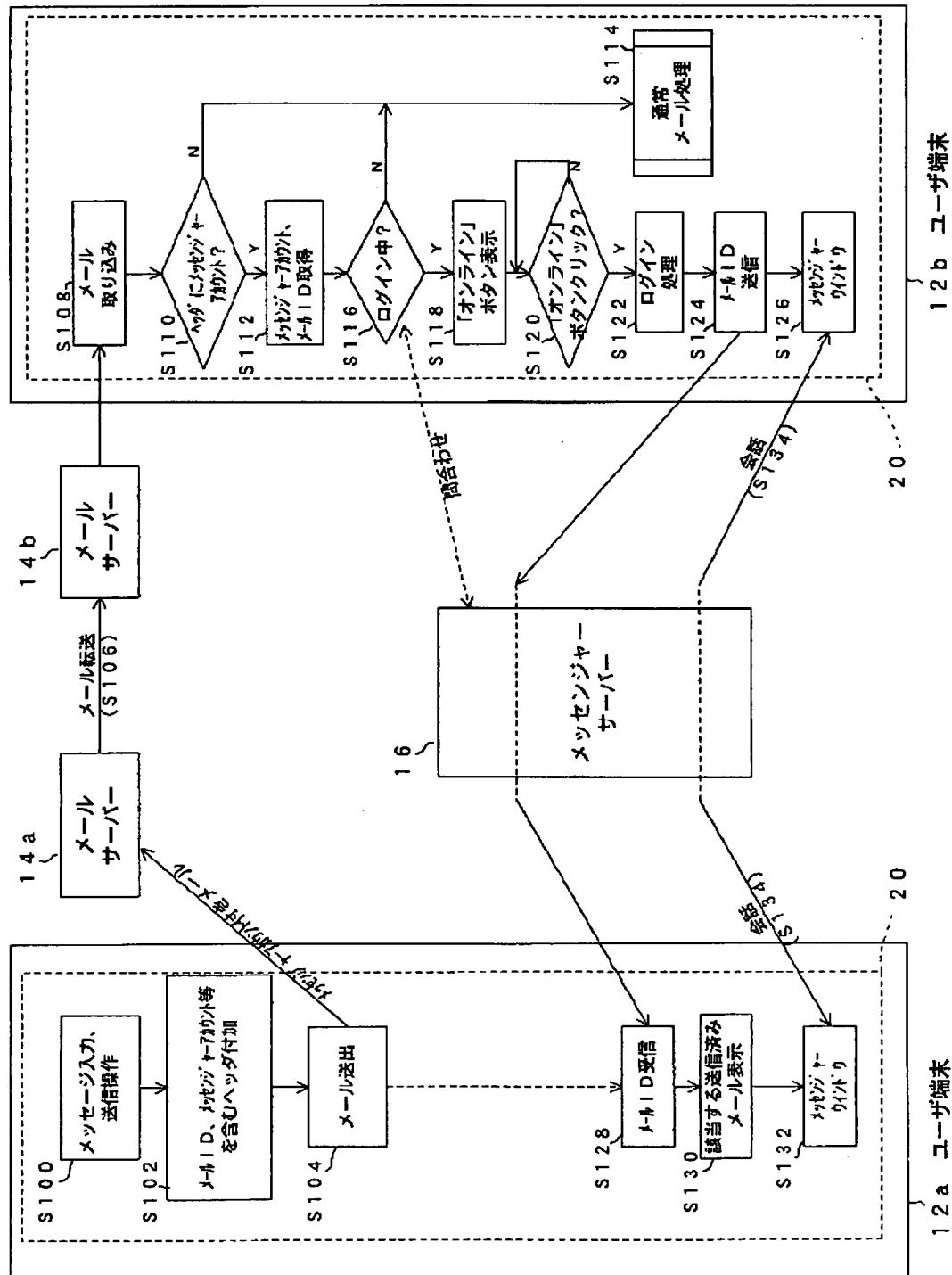
【図1】



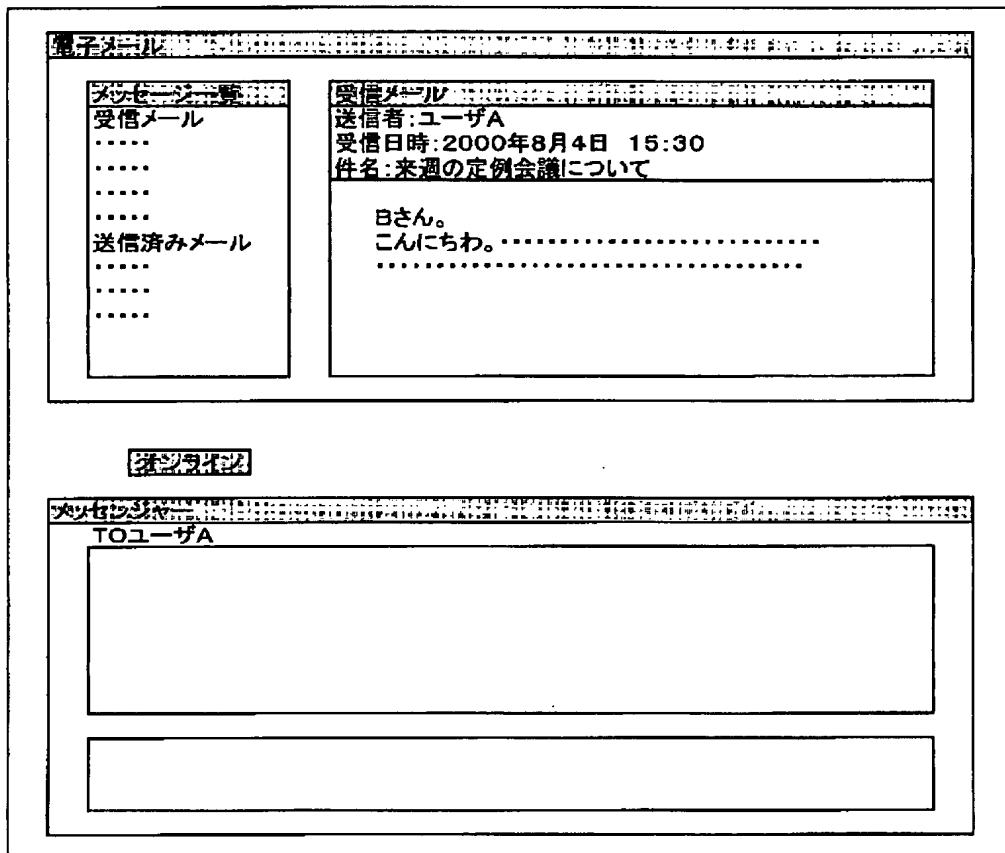
【図3】



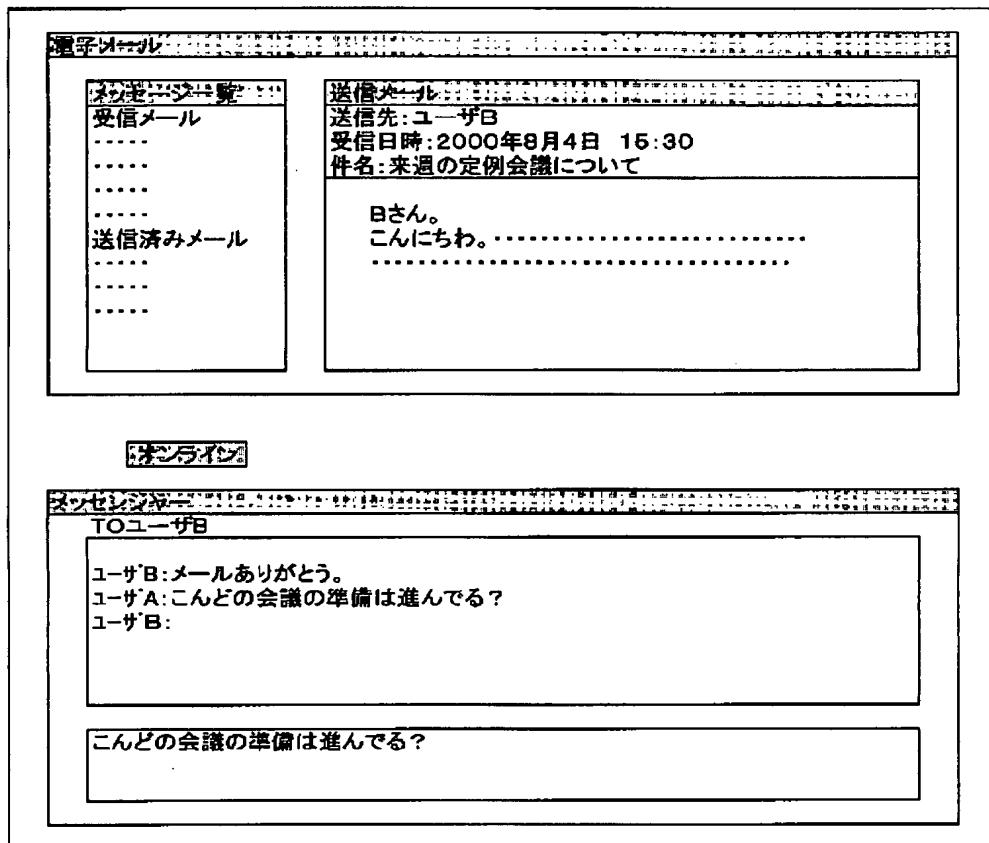
【図 2】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(54) 【発明の名称】 電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを利用してユーザー端末間で通信を行う方法、この方法をコンピュータに実行させるためのプログラム、このプログラムを記録した記録媒体、電子メールサービスとメッセージジャーサービスとを利用してユーザー端末間で通信を行うシステム、およびこのシステムでメッセージジャーサーバーとして用いられるサーバーシステム